

日米友好に寄与する国際交流活動

2011年2月1日

ミシガン州立大学連合日本センター

ミシガン州立大学連合日本センターは、滋賀県とミシガン州の姉妹提携20周年を記念して、1989年9月に設立されました。設立の目的は、日米両国、また滋賀県とミシガン州のさらなる友好関係の発展に寄与すること、語学、文化、習慣などについて相互の理解を深めること、国際教育交流の拠点とすること、です。当センターの土地、建物(教育棟と宿舎棟)は、滋賀県の施設で、実施している各種プログラムについては、滋賀県の支援を受けながら、ミシガン州にある15の州立大学が運営するという、全国にも類をみない大変ユニークな機関です。ミシガン州内の大学にかかわらず、全米の大学から留学生を受け入れています。

実施しているプログラムは、大きく3つに分けることができます。留学生向け「日本語・日本文化／社会」講座、日本人向け各種「英語」講座、および地域交流事業です。

「日本語・日本文化／社会」講座では、日本語の授業と日本に関連する分野の授業(例えば日本史、日本の映画、経済、宗教、政治、ポップカルチャーなどを英語で講義)を教授しています。当センターで学習した科目については、本国在籍大学の単位として認められます。

日本語学習の一環として、日本文化の体験学習にも取り組んでいます。お花、お茶、着付け、お琴、柔道等、地元のボランティアの方々に手ほどきを受けながら楽しく伝統文化を学んでいます。



留学生が果たすべき大きな役割の中に、地域との交流があります。自治体や各種団体が主催するスポーツ大会、祭事、国際交流会等々、さまざまなイベントに積極的に参加しています。また、希望する留学生には、日本の社会を実際に見るといった観点から、市役所、メディア、店舗、小中高校における体験学習の機会も提供しています。逆に、地元の子供たちにアメリカ文化を体験してもらおうと、留学生自身が企画と準

備をするハロウィン祭を毎年実施し、一緒にゲームやトリック オア トリートを楽しみます。その他、長期ホームステイ、週末ホームステイを通して、日本人家族との交流も深めています。一般市民が気軽に参加していただける公開講座も開催しています。



もう一つの特徴として、地元大学との交流があります。県内の3大学と学生交換協定を結びアカデミックな部分のみならず、クラブ、合同フィールドトリップ、学園祭、カラオケ等、大学生同士の活動も盛んです。

日本人向け各種英語講座では、すでに6000名以上の受講実績があり、ネイティブスピーカーによる授業はもちろんのこと、当センター留学生とカンバセーションパートナーになって、相互の会話能力を向上させることができます。また、留学生が滞在する寮で、ルームメイトとして一緒に生活することにより、国内にいながら実生活レベルでのアメリカ文化も身に付けることができます。



2005年に開催されました「愛・地球博」のアメリカ館を見学された方もたくさんおられると思いますが、館内で活躍していたガイドの80%は、当センターの日本語プログラム修了生でした。博覧会開催前の日本語研修も当センターで実施しました。

また、同修了生の中には、現在、在デトロイト日本国総領事館で勤務している者が3名おります。ミシガン州内には、日系企業も多くあり、当センターで学んだことや体験したことを糧に、様々な分野で活躍しています。

当センターでは、今後も、日米ならびにミシガン州と滋賀県との更なる友好関係のかけ橋になるべく人材の育成に取り組んでまいります。